

「Link for the future」をテーマに、学校と家庭、地域のつながりをつくる
～「しながわ！コミュニティ・スクール フェスタ」(主催：品川区教育委員会) レポート～

品川区では、平成28年度から品川コミュニティ・スクールの指定・取組を進め、今年度で、全小学校・中学校・義務教育学校が品川コミュニティ・スクールになりました。

※品川コミュニティ・スクールの詳細

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kukyoi/kukyoi-sesaku/hpg000032743.html>

品川コミュニティ・スクールの取組を広く保護者や地域の方々、企業等にも知ってもらう機会として、そして、学校支援活動の充実に向けて、平成31年1月19日(土曜日)に「しながわ！コミュニティ・スクール フェスタ」が開催されました。

会場は、品川区立豊葉の杜(ほうようのもり)学園アリーナ。この学校は、地域センターとの複合施設として、地域の方にも馴染みのある施設です。最初のプログラム「朝の会」から始まったフェスタには、保護者や地域の方々、品川区の教育活動に協力している企業や団体等が続々と来場し、教員等の学校関係者も含め、約1,600名の参加者がありました。

当日のガイドブック(32ページ)には、プログラムや会場案内等とともに、学校ゾーン、企業等ゾーンの全ての学校・企業等の取組を紹介

主な内容

- 学校ゾーン・・・各校の品川コミュニティ・スクールとしての取組の紹介
各校の取組紹介が、カラフルに、そしてわかりやすく掲示され、お揃いのハッピーを着た学校地域コーディネーターが来場者に活動を説明。ボランティア登録用紙の配布もあり、熱心に相談する姿も。
- 企業等ゾーン・・・各企業等の出前授業の紹介や職場訪問の受入等の相談
ネットワーク協議会の会員団体や、これまでに品川区で授業を実施した企業・NPO等によるブースがあり、コーディネーターや教員に活動を説明。団体相互の情報交換も行われていました。
- パフォーマンスゾーン・・・品川区にゆかりのあるスペシャルゲストによるステージ
日本料理「賛否両論」オーナーシェフである笠原将弘氏の講演、学識経験者・学校支援団体・企業・保護者によるトークセッション等
- 体験ゾーン・・・出前授業、校内掲示や図書館ポップ作成などの学校支援活動の体験
環境学習やプログラミング等の出前授業体験の他に、図書館ボランティアの交流会等、4つのブースで計20の体験
- 交流ゾーン・・・自由に交流や休憩ができるスペース
品川区と協定を結んでいる山梨県早川町のつみ木で遊べるキッズスペースや、学校地域コーディネーターとの相談コーナーも。



「品川コミュニティ・スクールとは、これからの世の中を生き抜く力を育てるために、地域と学校をつなげる仕組み」と、当日のガイドブックに紹介されています。最後の「帰りの会」では、中島教育長から、テーマである「Link for the future」について紹介がありました。テーマどおり、学校・家庭・地域が共に将来に向けた目的を共有し、今後の確かなつながりをつくる場となっていました。

当日の様子は、品川区のHPで紹介しています。

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/shinagawaphotonews/shinagawaphotonews-2019/20190119175057.html>

